

# 2024-04-15勉強会\_オリエンテーション

---

## 勉強会に関係ない諸連絡

- 研究室のイベントについて  
研究テーマ考案ミーティング、研究ミーティング(Unixを楽しむ会と勉強会も?)はlsnlのZoomで行います。  
ZoomのIDやパスコード等の諸々の情報は下記のredmineの研究室運営のwikiに書いてあるので、そこを参照してください。  
<https://rm.lsnl.jp/projects/adm/wiki>
- 日程調整について  
現在、論文餅つき合宿と新歓の日程調整を行っています。まだ調整さんに未記入の方は、今のうちに入力しておいてください。  
論文餅つき合宿: <https://chouseisan.com/s?h=4fdd494912bc42bf8364c5e92d0a9f79>  
新歓: <https://chouseisan.com/s?h=7410874c0be3461599fd71fcf3f4501f>

## 勉強会についてのオリエンテーション

### オリエンテーションの目的

勉強会に参加する全メンバが、勉強会の**狙い・運営方法・各自の役割**を理解し、次回以降の勉強会をより主体的かつインタラクティブに運営できるようにすること。

### 内容目標

- 大崎研で今年度行う勉強会とはどういうものなのかを理解し、他者に説明できるようになる
- 勉強会の目的と運営方法を知る
- 勉強会の形式と進行方法を理解する
- 勉強会における参加者の役割を認識する

### 勉強会とは

- 概要  
各発表者が興味のある分野について発表することで、参加人数分効率の良い学習を実現する
- 目的  
特定のテーマについて、参加者が**主体的に**学び、知識を深め合うことを目的として行う。  
効率の良い学習を実現する  
->学習コストと学習利益の観点から、各自が学習した内容を互いに発表し合うと**1人分の学習コストから参加人数分の学習利益**を得られる。これを目指す。  
詳しくは、少し硬い文章ですが、redmineの以下のページを参照してください。  
<https://rm.lsnl.jp/projects/adm/wiki/%E5%8B%89%E5%BC%B7%E4%BC%9A%E8%BC%AA%E8%AC%9B%E3%81%AE%E5%8E%9F%E7%90%86>
- テーマについて  
その日の発表者に自由に決めてもらいます。研究に関係あることでも無い事でも大丈夫です。情報系に関係のないことでも勿論大丈夫です。  
去年の勉強会では、ドメインの取得やWebページ公開、GitHubハンズオン、就活の話、ハッカソンな

どを実施しました。詳しくは以下のredmineの過去のチケットを参照してください。

<https://rm.lsnl.jp/projects/workshop/issues>

- 発表の形式

発表者が喋って聴講者が聞くという講義形式ではなく(それでもいいですが)、できればできるだけ参加者がコーディングしたり、質問や意見を交換しながら**インタラクティブに学ぶこと**を目指しています。

## 勉強会のルール(適宜更新が必要?)

- 全員が発表の機会を持つ

発表者の増加はそのまま学習効率の向上に繋がるため、**極力全員**が発表を行えるようにする。

効率の良い学習を実現するために、少し硬い表現になりますが、下記のredmineのwikiを見ていただければと思います。

<https://rm.lsnl.jp/projects/adm/wiki/%E5%8B%89%E5%BC%B7%E4%BC%9A%E8%BC%AA%E8%AC%9B%E3%81%AE%E5%8E%9F%E7%90%86>

要約すると、**give and take を意識することで、学習効率を{参加人数}倍にすること**を目標にしています。

例えば参加人数が5人だと、発表を一人一回ずつ行くと学習効率は理想的には5倍になる。

ただし、それは各々が同じ量を学習し、その内容を発表した場合に限られる

普通にやると、人間は弱いので、"自分は聴講だけしたい"とか、"発表の準備をしてない"(~=フリーライダー?)となり、真面目に発表した人が損をする(真面目に発表した人は自分が発表することで一人で学習する5倍の量の知識を得られると期待しているため)。

学習効率が{参加人数}倍に近づけられるように、**参加者全員が自覚をもって取り組むことが重要**

- 時間厳守

研究室で何かイベントをすると、時間を押してしまうことが多いのですが、勉強会は**時間厳守**で行きたいです。

1コマ(100分)丸々やるのではなくて、60分強ぐらいで終わる感じで行きたいなと思っています(ボリュームが少なすぎてもダメですが、多すぎてもダメです)。

終わった後に、聴講者からの質問に答える時間を設けようと思っています。

1コマで終わりそうにない場合は、何回か連続で同じ人が担当者になってもOKとします(例:04-15で終わらなければ、04-22も同じ人が続きから発表)。

- 勉強会の告知

開催日の前日(月曜日)までに、告知のメールをall@lsnl.jpとtraining-a@lsnl.jp宛てに送ってください。

メールには、**\*\*勉強会の構成(何をやるか)\*\***を簡単に書いてください。

- 資料は無くてもいい

勉強会に使う資料は無くてもいいですが、**記録を残す**という観点でも、**理解度促進**という観点でも、できればあった方が良いので作ってもらえると嬉しいです。

- できれば対面で参加してほしい

上記でも述べましたが、参加者同士がインタラクティブに進行していきたいので、**対面での参加**をお願いしたいですが、Zoomでも参加できるように画面共有をしながらやる予定です。

## 勉強会の開催頻度

現時点では、**毎週火曜日3限**にしようと思っています。

二週間に一回がいいとか、月に一回がいい等の意見が多ければ調整しようと思っています

ただし、**論文提出の直前や夏季休暇中、春期休暇中、祝日は実施しません**(今年のソサイエティ大会の締め切

りが6/27なので(変わるかも？)、6月は実施しないかも)。

ソサイエティ大会2025:[https://www.ieice.org/jpn\\_r/activities/taikai/society/2025/](https://www.ieice.org/jpn_r/activities/taikai/society/2025/)

## 勉強会の担当者(発表者)

発表した人が、次に発表する人を指名する形式でやろうかなと思っています。(例: kazuma-aが発表した場合、勉強会が終わった時に、次の発表者としてyoshiteruを指名する。)

と思っていましたが、予め発表者を決めて置いた方が準備がしやすい？

## 勉強会係(Hidehiro, Tetsuro)にやってほしいこと

- 勉強会の司会  
始めのあいさつとかタイムキーパーとか？
- 告知メールの確認  
開催日の前日(月曜日)までに告知のメールが来ていない場合、発表者に送るように伝える
- 勉強会の内容を何かしらで保存する  
勉強会をやって終わりだともったいないので、内容をどこかに保存するとか、どこかに公開するとか何かしらしてほしい。(これは広報係のタスク？)
- 参加者が増えるように策を打つ  
参加率が100%になるように何か策を打ってほしい
- 何があっても途絶えないようにする

## 質疑応答

This material benefited from the assistance of ChatGPT.

Kazuma Aoyama(kazuma-a@lsnl.jp), Yoshiteru Taira(yoshiteru@lsnl.jp) and Shota Inoue(shota@lsnl.jp)